

令和4年度(2022年度) 事業報告書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

NPO法人 しまね体験活動支援センター

・理事会

第1回理事会(開催年月日 令和4年5月26日)

出席理事数7人中7人(うち表決委任者3人)

理事長 青木充之

理事 板垣成二、岩崎知久、野津登美子

(委任状提出理事 副理事長 藤原洋之、鳥屋原敏夫、西谷正文)

議決事項の概要①令和3年度(2021年度)活動報告(案)及び決算(案)、令和4年度(2022年度)事業計画(案)、収支予算(案)の総会提出の承認

・総会

通常総会(開催年月日 令和4年5月26日)

会員の現在員数29人、出席会員数27人(うち表決委任者22人)

議決事項の概要①令和3年度(2021年度)事業報告、収支決算の承認

②令和4年度(2022年度)事業計画(案)、収支予算(案)の承認

報告 1. 2022年度 斐伊川・神戸川流域環境マップづくり16助成金申請について

申請先:公益財団法人 河川財団、金額1,000,000円

一般社団法人中国建設弘済会、金額220,000円

1 事業の成果

日常での生活体験や自然体験が不足している子ども達の体験活動を様々な形で支援することにより、子ども達の社会規範や道徳性を身につけさせることをめざして取り組んだ。また、教育や青少年健全育成、環境関連の関係機関・団体等とネットワークを構築し、環境学習を推進し、環境保全活動につなげて行きたいと考えて活動を行った。

特に、島根県中山間地域研究センターとの共催で実施した第16回「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」は、NPO法人しまね体験活動支援センターの前身である「神戸川流域環境学習推進協議会」から事業を引き継ぎ、令和4年度(2022年度)で21回目となる継続的な事業で、公益財団法人河川財団、一般社団法人中国建設弘済会から助成金を受けることができて事業を円滑に実施することができた。

このマップづくりは、環境教育・環境学習の実施及び支援に関する事業で、春・夏の調査、秋の調査に今年度は11の小・中・高等学校で延べ328人の児童生徒が参加し、河川に直接入って水生昆虫を調査するなどして水質判定を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、夏休みに親子を対象に宍道湖に船で出かけて「夏の宍道湖環境調査」は直前で中止とした。

事前に調査参加校の教員等を対象に 5 月に実施している指導者研修会は、国土交通省出雲河川事務所の協力を得て、体験不足の教員にとっても指導の自信を身につけることのできる体験的な研修となっている。

斐伊川・神戸川流域環境マップ 2022 年報告書と A1 サイズの河川環境マップを、流域小・中学校、公民館、コミュニティセンター、図書館、教育委員会、関係機関等へNPO法人より配布した。

現在までの河川環境マップづくりの延べ参加者数は、16,199 人となった。



【第 16 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会】



【第 16 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会 発表風景】

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

単位(円)

事業名	事業内容	実施事業の日時、場所、従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数、評価	支出額
環境教育・環境学習の実施及び支援に関する事業	「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり指導者研修会」 川で水質調査体験などを研修	2022年5月26日 神戸川（出雲市乙立町）スタッフ他9名 国交省出雲河川事務所と共催	マップづくり参加校の教員等対象3名	10,000
環境教育・環境学習の実施及び支援に関する事業	「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」 小・中・高等学校11校参加	2022年5月～2023年3月 斐伊川・神戸川流域スタッフ6名	マップづくり参加校の児童生徒教員328名	1,111,487
環境教育・環境学習の実施及び支援に関する事業	「第16回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」 小学校3校、高等学校1校が活動内容や気づきを発表。 国土交通省出雲河川事務所、島根県中山間地域研究センター、流域教育委員会、一般社団法人中国建設弘済会、一般県民等参加	2022年11月23日 出雲科学館 スタッフ8名	マップづくり参加校の児童生徒、指導教員、関係者、保護者、教育委員会、一般県民対象90名	130,000

合計 1,251,487 円